

総合戦略施策評価シート（平成28年度実績）

基本目標	二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる
施策	身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出
概要	元気な高齢者や資格を持った方等が身近な場所で働くことができるような環境づくりを進める。 また、農業については、就農希望者等に対する農地のあっせんや就農相談等の総合的な支援を図るとともに、特産物の普及・奨励等により食の地産地消を進める。

数値目標

指標名	基準値	目標値
二宮町民の就業者割合	54.3% (平成22年国勢調査)	56.5%以上 (平成32年国勢調査)

重要業績評価指標(KPI)

指標名	実績の推移					目標値	備考
	基準値	H28	H29	H30	H31		
二宮町における従業者数	5,568人	-				5,678人以上	
農業参入（法人・個人）数	2件	0件				2件（人） 以上増加	

【説明欄】（進捗状況・数値で表せない指標について）

「二宮町における従業者数」は経済センサスの結果を実績としているが、当該調査は平成28年6月1日時点で実施されているものの、現時点では確報値の公表が行われていないため。

総合戦略プロジェクト評価

プロジェクト名	総合評価
二宮で働きたい人の就業応援プロジェクト	Ⅱ
就農・地産地消応援プロジェクト	Ⅱ

成果や課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・町内中小企業の振興を図るために、商工会や商店連合協同組合と連携を図っているが、現状においては就業応援まで及んでいない。 ・遊休・荒廃農地は、荒廃農地の発生・解消状況に関する調査において、増加傾向は見られないが、減少するまでに至っていないため、利用集積を促進する必要がある。 ・特産物のオリーブについては、果実等の販売や加工方法等が確立されていない。
-----------------	---

該当評価にレを入れてください

【参考】（総合戦略プロジェクト評価の評価指標／一部抜粋）

- I：プロジェクトとして良好であるため、引き続き推進する
- Ⅱ：一部、事業を改善する必要がある
- Ⅲ：プロジェクト全体を見直す必要がある
- Ⅳ：プロジェクトを休止・廃止する

総合評価	<input type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
	<input checked="" type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3:施策全体を見直す必要がある
	<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
	<input type="checkbox"/>	5:その他
	説明	<p>平塚ハローワークに確認(平成29年2月)したところ、町内の約60事業所が求人募集を行っており、約150人の町民が求職者情報を登録しているが、企業側と求職者側とのズレが生じているため、原因の分析等が必要である。</p> <p>平成28年度は、複数の就農相談を受けたが、新規農業参入には至らなかったため、更に農業参入しやすい環境づくりのサポート等を行う必要がある。</p> <p>特産物の普及としては、オリーブの販売や加工方法等を確立する必要がある。</p>

今後の方向性

来年度に向けての課題や意見等	<p>今後においても法律等の動向を注視するとともに、ハローワーク等と連携を図り、雇用の促進を図っていく。</p> <p>農業については、遊休・荒廃農地の解消と新規農業参入者の増加や利用集積の促進を図る。</p> <p>また、特産物の普及としては、オリーブの販売や加工方法等の確立を図る。</p>
----------------	---

最終評価者 [庁内評価委員会]

<input type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
<input checked="" type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3:施策を構成するプロジェクトを含め、施策全体を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
<input type="checkbox"/>	5:その他[]

意見等

二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくるためには、身近な地域で働く希望を叶えるための雇用の創出は重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいるものの、KPIの進捗については実績の把握が困難な指標や実績に繋がらなかった指標があるため、引き続き、着実な取り組みの推進が必要である。

今後さらに施策を推進するために、商工会や商店連合協働組合、ハローワーク等と連携し、求職者のニーズと企業ニーズのマッチングを促進し、経営と雇用の両面から事業者を支援することで、雇用の維持・促進を図る。併せて、農業については、国の政策が大きな転換点を迎えていることから、情報収集に努めるとともに、農業者や関係機関との連携により、農業の持続的発展と加工等による高付加価値化に向けた支援を継続する。